

募集期間	令和4年11月7日～令和4年12月7日
担当課	都市開発部 都市計画課
実施方法	(1) 市ホームページに計画(案)を掲載して意見募集 (2) 都市計画課カウンター、情報公開コーナー、公民館へ計画(案)を掲示して意見募集
提出意見	10名21件

No	提出者	提出意見	市の考え方
1	A	旧市民プール跡地について、解体費用が無いのであれば、跡地を利用した、例えば魚の養殖といった取り組みについて、大学等に相談してはどうか。	旧市民プールは、令和元年度に解体が行われ、現在は市が管理する更地となっております。 都市計画マスタープランでは、プール跡地周辺を、広域観光・市民の日常利用の促進や、三河湾に面する地域特性を活かした交流・産業振興を促進するエリアとして方針を掲げております。方針に即した土地利用を検討してまいりたいと考えております。
2	A	元気な高齢者が増えていることから、保育園に招き交流してはどうか。高齢者のボケ対策や保育士の負担軽減になるのでは。蒲郡市は生まれてから死ぬまで面倒を見てくれる街になると思う。	都市計画は、土地利用の規制や誘導、道路・公園・下水道等の都市施設の整備、市街地開発事業に関する計画で、都市計画マスタープランは、都市計画に関する基本的な方針を示すものです。 保育園や高齢者に関する具体的な施策は、本マスタープランとは別の方針・計画等に基づき進めるものと捉えております。今回いただきました、保育・高齢者に関する施策についてのご意見は、関係部署とも共有いたします。
3	B	学校を通じたアンケート調査を毎年実施し、50年後に生きる今の小中学生の柔軟な意見を聴いたほうがよい。	小中学生も含めた市民の方のご意見を伺うことは重要なことであると考え、小学生へのアンケート調査を4年に1回の頻度で実施しております。今後の取り組みを検討する際のご意見として承り、関係部署とも共有いたします。

No	提出者	提出意見	市の考え方
4	C	<p>1 海を生かした臨海浜公園 (例)亀岩公園の活用</p> <p>2 蒲郡の海の一画を県民の海として 指定して活用</p>	<p>本市には、市域の南側で三河湾に面しているという特徴があります。都市計画マスタープランでは、その地域特性をまちづくりの資源として活かしつつ、交流・産業振興を推進していく方針を掲げております。</p> <p>具体の施策については、今後、改めて検討してまいります。その際には、今回いただきました、土地利用や公園緑地などの施設の整備・管理の具体的な方策に関するご意見も参考に進めてまいりたいと考えております。</p>
5	C	<p>3 地元 愛知工科大学との連携(学生 や教授)</p>	<p>大学等との連携については、都市計画マスタープランで掲げた目標の、「将来にわたって持続可能なまち」に寄与し、公民連携による魅力の創出につながる取り組みの一つであると考えております。</p> <p>本市では、平成23年4月に、愛知工科大学と地域包括連携に関する協定を締結し、まちづくりをはじめとする各分野における連携及び協力に取り組んでおります。</p> <p>今後、都市計画マスタープランの方針に基づく具体の施策を検討する際には、大学等との連携も含めて進めてまいりたいと考えております。</p>
6	D	<p>土地区画整理地内の清田町一沢に公園ができると言われているが、まだ何もされていない。できれば公園を作る時に一緒にゴミ置き場も作ってほしい。今住んでいる地区には新しい家もたくさん建てられ 人口も増えており、今あるゴミ置き場まで遠いため。</p>	<p>都市計画マスタープランでは、現在施行中の区画整理事業について、円滑な事業推進による早期の完了と、各種の施設整備と合わせた良好な住環境の形成を目指す方針を掲げております。また、公園を整備する際には、市民の方からいただくご意見を参考にしつつ、事業を進めていく方針を掲げております。</p> <p>今回いただきました、公園整備に関するご意見は、関係部署とも共有いたします。</p>

No	提出者	提出意見	市の考え方
7	E	<p>名鉄蒲郡西尾線の存続を願っている。鉄道が無くなると人口は減る一方。名鉄と西尾・蒲郡両市で計画し、国・県を巻き込んだ連携での共存共栄に期待する。</p> <p>具体的なアイデアとしては、駅から歩いてすぐのところに企業を誘致し、企業は電車通勤者への優遇を検討する、名鉄と連携し愛知こどもの国と愛知こどもの国駅の間を切り開き、大学・高校・専門学校等を誘致する、といったもの。学生は電車があれば市外からでも通ってくれる。学生時代の思い出の場所であれば後に社会人となり家庭を持つことになった際の移住も十分ありえる。その際に、将来子供が通学選択に困らないように電車は必須。廃線にしてからでは遅い。それこそ莫大な予算が必要。名鉄沿線の近隣住民に意見をもらうべき。</p> <p>名鉄が利用されないのは各駅周辺に行く機会や名鉄を利用するメリットがないから。子育て世代は手荷物のことを考えると車の方が楽なら車を選択すると思う。</p> <p>若い世代を呼び込むことで、飲食店、愛知こどもの国を活用した海でのマリンスポーツ、レジャー、海水浴、潮干狩り、山の利点を活かした次世代アスレチックレジャー施設、散歩道、簡易登山、公園整備、次世代グランピングキャンプ施設なども出店しやすくなる。</p>	<p>本市では、鉄道駅周辺に居住地や医療・子育て支援施設などの都市機能が集積しております。今後、人口減少のさらなる進行が予測されておりますが、一定の人口密度の維持や都市機能の立地を誘導することで、利便性の高いまちの形成を目指しております。</p> <p>鉄道駅周辺をまちづくりの拠点と位置付けていることから、名鉄蒲郡線の存続は、非常に重要な課題と認識しております。都市計画マスタープランでは、まちづくりの目標として「みんなが快適で住みやすいまち」を掲げ、誰もが利用しやすい公共交通網を形成することを目指しております。そのため、関係自治体・事業者と緊密な連携を図り、名鉄西尾線とあわせ、運行継続に向けた取り組みを推進する方針を掲げております。</p> <p>既存市街地では、居住・都市機能施設の立地により土地利用の促進を図りつつ、市域内においては、各種産業との相互の影響も加味しながら、新たな企業用地候補地の検討を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>ご提案いただきました個別具体の施策については、今後の検討の際の参考のご意見として承り、関係部署とも共有いたします。</p>
8	E	<p>仕事生活、医療託児施設、教育施設、保育園誘致、子育て世代への優良助成金サービス、娯楽サービスが一体となる必要あり。千葉県流山市モデルのように。</p>	<p>本市は、豊かで美しい自然に恵まれた地理的条件の中で、暮らし・産業・観光・レジャー・歴史文化などの調和のとれた地域として発展してきました。</p> <p>今後は、他都市の事例も参考にしつつ、これまでに醸成されてきたまちの構造、海と山が近いといった特徴的な立地条件、中京都市圏の中心である名</p>

No	提出者	提出意見	市の考え方
			古屋市と道路・鉄道で結ばれている高い交通利便性を活かしたまちづくりを進めてまいります。
9	E	<p>祭に対して市から助成金を出して盛大化し、若い世代の人口流出を防ぐとともに観光客を呼び込む。各所で自腹で祭のための代金を捻出している状況で、人口減少に伴い負担が年々増加しており、家庭の予算の問題で祭をやりたいけど金がないから祭に参加しない人が続出している。悪循環。</p> <p>三谷祭、形原エーン曳き、西浦祭、幡豆(かぼちゃ寺祭や旧うさぎ島、旧猿ヶ島の秋祭り)吉良吉田火祭り、西尾市内祭など。</p>	<p>都市計画マスタープランは、都市計画に関する基本的な方針を示すために策定するもので、人口減少対策・観光振興に関する具体的な施策は、本マスタープランとは別の方針・計画等に基づき進めるものと捉えております。</p> <p>各地域で行われる祭は、市民の方が居場所や役割を持ち活躍する場であるとともに、シビックプライドの醸成につながる行事で、観光振興にも資するものであると考えております。今回いただきました、観光振興や地域文化に関連する施策についてのご意見は、関係部署とも共有いたします。</p>
10	E	<p>形原温泉のあじさい祭りだけでは不足。6月の観光客のみ。他の月は閑古鳥。これでは飲食店やホテルは衰退。</p> <p>あじさい以外に池に夏は菖蒲、春は桜、秋は紅葉となる樹木や銀杏並木など、温室の菊を栽培する企業誘致してはどうか。市から企業へ助成金。夜間のライトアップにもなる。</p> <p>公園、アスレチック、サバイバルゲーム施設など併設。</p>	<p>都市計画マスタープランは、都市計画に関する基本的な方針を示すために策定するもので、観光振興に関する具体的な施策は、本マスタープランとは別の方針・計画等に基づき進めるものと捉えております。</p> <p>あじさい祭りは本市が誇る重要な観光資源であると考えております。今回いただきました、観光客誘致に関連する施策についてのご意見は、関係部署とも共有いたします。</p>
11	E	<p>名鉄三河鹿島駅から形原温泉までのメイン道路にアジサイを全面的に植えてアジサイロードを作る。名鉄利用客増大、インスタ映えポイント。</p>	<p>都市計画マスタープランでは、形原温泉周辺について、緑の保全・整備を図りつつ秩序ある魅力的な景観形成を推進する方針を掲げております。</p> <p>具体の施策については、今後、改めて検討してまいります。その際には、今回いただきました、温泉地区や周辺地域の魅力を高める具体的な方策に関するご意見も参考に進めてまいりたいと考えております。</p>

No	提出者	提出意見	市の考え方
12	F	<p>改善計画は理解できたが、計画を実現するための財源をどのように確保するのが気になった。市税は個人・法人ともに減少傾向にある。将来産業規模は拡大すると予測しており、その収益を期待していると思われるが、産業拡大に向けた具体的施策がわからない。個人市税を増やすためには人口増が必要だが、計画上では人口は減る想定。日本政府のように借金を増やし続けるのは得策ではないと考える。</p>	<p>都市計画マスタープランは、都市計画に関する基本的な方針を示すために策定するもので、財源確保のための具体的な施策は、本マスタープランとは別の方針・計画等に基づき進めるものと捉えております。</p> <p>都市計画マスタープランで掲げた各方針に基づいた施策を進めていくにあたり、財源は重要な要素だと考えております。今回いただきました、行政の財政運営に関するご意見は、関係部署とも共有いたします。</p>
13	F	<p>色々な改善計画があるが、重要テーマを2つほどに絞り、それを大々的に市民や市外に向けて PR することで、蒲郡市の方向性 PR が可能になると思う。テーマが多すぎると1つ1つが薄れてしまい、せっかくの良い計画でも周知されにくくなると思う。</p> <p>私個人が考える重要テーマは「子育て支援の充実」と「温泉街の整備」。</p> <p>子育て支援が必要な理由は、サステナブルな自治体を目指す上で若い世代の定着および子供の増加が必須だと考えるため。2015年の人口ピラミッドでは、40歳以上の比率が多く、40歳以下はかなり減っている。公園や保育園、児童手当など多方面の充実による子育て支援により、いかに市外から若者世代を誘致できる魅力的な街にするか、子育て世代が住みたいと思える住環境を整備できるかだと考える。兵庫県明石市のような例を参考にしてほしい。</p> <p>リモートワークが定着した関係もあり、勤務地から離れたところに住む人が今後増える機会があると考えている。</p> <p>名古屋までJR東海道本線で約45分、高速道路までも比較的近いなどの利便性、温泉街が近くにある観光要素、</p>	<p>都市計画マスタープランでは、まちづくりの課題に対応していくための多様な視点が必要と捉え、まちづくりの基本理念を踏まえた4つの視点を設定し、視点に沿った4つの目標を定めております。</p> <p>また、温泉街の景観については、秩序ある魅力的な景観形成を推進する方針を掲げております。具体の施策については、今後、改めて検討してまいります。その際には、今回いただきました、温泉街の活性化・魅力向上に関するご意見も参考に進めてまいりたいと考えております。</p> <p>子育て支援の充実や温泉地区の魅力を高める具体的な方策についてのご提案は、人口流出抑制・転入人口増や本市の特徴を強みとして活かした観光交流人口増につながる取り組みへのご意見として承り、関係部署とも共有いたします。</p>

No	提出者	提出意見	市の考え方
		<p>山と海に囲まれた自然豊かな立地など、魅力的な要素は多く若者世代を集客するネタとしては十分あると考えている。</p> <p>温泉街の整備が良い理由は、蒲郡は名古屋から1時間程度で訪問できる日帰りには最適な観光地だと考えるから。西浦温泉の一部では魅力的なホテルが増えてきているが、その他温泉街では少し怖いぐらいのホテルがまだ多い。特に三谷温泉は幽霊が出そうな外観で夜に近寄るのも怖い。富裕層から普通層までが選択できる幅広いレンジ向けの宿泊・日帰り温泉地区となると魅力的である。ホテル側の経営も重要な点ではあるが、蒲郡市も介入しながら再開発を検討していただきたい。</p> <p>ホテルとともに深海魚という特徴を生かした料理を組み合わせることでさらに魅力的な土地になると思う。ただの海鮮のおいしい観光地ではなく、他エリアでは味わえないちょっと変わった海鮮料理も観光客を誘致可能な点と考えている。</p>	
14	G	<p>市内にシネコン型の映画館を誘致してほしい。企業が来てくれるのを待つのではなく蒲郡市の方から働きかけてほしい。映画鑑賞が好きな自分としたら自分の街に映画館が無いのは本当につらい。</p> <p>祭りとかの観光に力を入れるだけではなく街の若者が集まるような商業施設を作ったほうがよい。そうでないと人々は市外へ出ていく一方になる。</p>	<p>都市計画マスタープランでは、「将来にわたって持続可能なまち」を目標に、公民連携による魅力の創出を目指し、多彩な地域資源の新たな魅力創出のために、民間活力の導入などを促進することとしております。</p> <p>あわせて、鉄道駅周辺に、居住とともに商業施設を含む都市機能施設を誘導する方針を掲げております。</p> <p>人口減少による人口密度の低下への対策として、鉄道駅周辺に居住や都市機能が集積したまちを維持していけるよう取り組みを進めてまいります。</p>
15	H	<p>現在小さなお店をやっているが、蒲郡でちょうどいい物件がなく幸田町</p>	<p>都市計画マスタープランでは、形原温泉を含めた、市内にある4箇所の温</p>

No	提出者	提出意見	市の考え方
		<p>でやっている。形原温泉 あじさいの里などでもファミリーや主婦、高校・大学生、おばあちゃんたちなどの人々で賑わうようにカフェやパン屋、雑貨屋などの隠れ家的な小さなお店がもっとたくさんできたら嬉しい。</p> <p>そしていつかは蒲郡でお店ができたらなと思う。</p>	<p>泉地区について、市内外から訪れる方が楽しめるような空間づくりを検討する方針を掲げております。</p> <p>具体の施策については、今後、改めて検討してまいります。その際には、今回いただきました、温泉地区の魅力を高める具体的な施設に関するご意見も参考に進めてまいりたいと考えております。</p>
16	I	<p>(1) 豊かさの根源</p> <p>第5次蒲郡市総合計画にある、「将来都市像：豊かな自然の中で一人ひとりが輝き つながりあうまち(君が愛する蒲郡)」に賛同する。ここで、現状分析にある人口減少の実態は、年少人口の減少に起因しており、生産年齢人口や高齢人口は減少しておらず、住み続けていけば住みよいまちであることを実証していると思う。</p> <p>一方、年少人口の減少は、若年層が蒲郡の住み続けることで一人ひとりが輝きを持てる様になるか否かに漠然とした不安がある様に思う。</p> <p>ここで生活してゆく上で「誇りの持てる地域力」が重要だと思う。これは自己満足のみや、独りよがりでない豊かさにつながる様に思う。</p>	<p>都市計画マスタープランでは、地域別構想において、それぞれの地域における土地利用や地域資源の特色を踏まえ、それらを活かしたまちづくりを推進することとしており、ご意見いただきました「誇りの持てる地域力」にもつながるものと考えております。</p>
17	I	<p>(2) トライする姿勢</p> <p>豊かさは与えられるものではなく、自ら獲得するものだと思う。生活基盤の充実は勿論重要だが、それ以上に、各人(特に若年層)が自らトライし、自己満足でない、客観的な個人力を獲得することが、一人ひとりが輝く根源だと思う。またこれが、蒲郡の結果的な競争力の強化につながると思う。</p>	<p>都市計画マスタープランに基づく取り組みにより「多彩な魅力を活かした、誰もが安心して心地よくすごせる社会基盤の構築」とともに、市民の方の活動の場づくりを目指せるよう、ご意見として承り、関係部署とも共有いたします。</p>
18	I	<p>(3) 文化拠点の充実</p> <p>将来にわたっての持続可能なまちづくりには、若年層に対する継続的な</p>	<p>都市計画マスタープランでは、竹島水族館や生命の海科学館を含めた、市域全域の市民の方や市外から訪れる</p>

No	提出者	提出意見	市の考え方
		<p>可能性の発掘、取り組みが重要と思う。そのために文化拠点の充実、文化施設の充実が重要。そのための施設を建設することではなく、「こと」の充実が重要だと考える。</p> <p>竹島水族館や生命の海の科学館での取り組みは、単に地方都市での予算規模で出来る事を並べるだけでなく、外から観ても輝きを放つ内容を持っていると考えている。</p>	<p>方が主な利用者になる全市利用型施設について、配置やサービスの提供方法を工夫して利便性の向上を図り、にぎわい創出につなげることで、まちの魅力を高める方針を掲げております。</p> <p>竹島水族館や生命の海科学館での取り組みに関する賛同のご意見として承り、関係部署とも共有いたします。</p>
19	I	<p>(4) 人と文化を未来につなぐまちづくり</p> <p>第5次蒲郡市総合計画の基本目標にあります、「人と文化を未来につなぐまちづくり(教育・文化)」強化に向けた追加書き込みが蒲郡市マスタープランに重要に思う。</p>	<p>都市計画は、土地利用の規制や誘導、道路・公園・下水道等の都市施設の整備、市街地開発事業に関する計画で、都市計画マスタープランは、都市計画に関する基本的な方針を示すものです。</p> <p>そのため、第5次蒲郡市総合計画と将来都市像を共有しつつも、本計画の役割を「多彩な魅力を活かした、誰もが安心して心地よく過ごせる社会基盤の構築」と設定しております。</p> <p>教育・文化に関する取り組みについては、都市計画と関連する部分もありますが、本マスタープランとは別の方針・計画等に基づき進めるものと捉えております。いただいたご意見は、関係部署とも共有いたします。</p>
20	J	<p>前回のマスタープラン参加させていただいた。</p> <p>海陽町からの騒音は、収まることはない。新しい計画はいいが、まずは住民の生活環境を壊さないでほしい。自分の事業場敷地から隣に音を出さないのが当たり前では。</p> <p>条例、規則があればいいが、愛知県に同じような施設がないから規則はない。蒲郡市独自にできればいいが。普段はとても静かな場所だが、決まった時間に騒音が聞こえると、イライラし体調に良くない。</p>	<p>都市計画は、土地利用の規制や誘導、道路・公園・下水道等の都市施設の整備、市街地開発事業に関する計画で、都市計画マスタープランは、長期的な視点から都市計画に関する基本的な方針を示すために策定するものです。</p> <p>騒音対策に関する具体的な施策は、住環境問題に関連する関係法令・方針・計画等に基づき進めるものと捉えております。今回いただきました、騒音防止に対するご意見は、関係部署とも共有いたします。</p>

No	提出者	提出意見	市の考え方
		<p>めざす将来の姿「公害や不良な生活環境のない、快適で衛生的なまちでくらししています」、いいですね！今の環境では、施設や道路の計画があっても協力は出来ない。説明も 10 年たってもまだなので。</p>	
21	J	<p>いろんな計画で地区の呼び方が違うので統一してほしい。大塚地区に海陽町は入れないでほしい。</p>	<p>都市計画マスタープランでは、地域区分の設定を、まちづくり活動や市民の方にとっての認識のしやすさを考慮したうえで、土地利用や都市施設の状況類似性、生活圏、地域のまとまりなどを踏まえて行っております。</p> <p>地区等の区割りにつきましては、それぞれの計画の考え方が存在しており、その目的に併せて検討されるべきものと考えております。ご意見として承り、関係部署とも共有いたします。</p>